



# 共生社会のためのインクルーシブ教育実践

～LITALICOジュニアの取り組みを中心に～

講演形式

未来の先生展  
2017

開催日時

2017年 8月 26日(土) 16:20-17:50

場 所

武蔵野大学有明キャンパス1号館4F 407教室

講 演 者

木村 彰宏 (株式会社LITALICO)

## 内容

全ての子どもには何らかのニーズがあることを前提とし、その多様なニーズに対応できる教育システム（学校・カリキュラム・制度など）を作るプロセスである、「インクルーシブ教育」。今回は、そもそもなぜインクルーシブ教育を考えることが必要なのか、インクルーシブ教育とは具体的に何を指すのか、教育における合理的配慮とは何か、様々な教育場面でその考え方をどのように般化していくのか等を、現在8000名以上のお子さまが通われているLITALICOジュニア（お子さま一人ひとりの得意や苦手を見つけ、それぞれの特性に応じた指導をおこなうソーシャルスキル＆学習教室）の取り組みを交えながらお話しします。

## ここに注目！

当日皆さんにお話させていただく木村自身が、教師経験者であり、インクルーシブ教育について学校現場で実践追求していた立場でもあります。また、現在はLITALICOで働く傍ら、教師の支援を行っているNPOでも活動しています。そんな立場だからこそ、LITALICOジュニアでの取り組みやその価値を、インクルーシブ教育や、学校教育の文脈の中でもお話できるのではないかと思います。益々多様化するこれからの社会を生きていく子どもたちを育んでいく、教育関係者・教育関係の仕事に就こうと考えている学生の皆さんと、インクルーシブ教育について考えられるのを楽しみにしています！

## 講演者プロフィール



株式会社LITALICO

ジュニア事業部ヒューマンリソースグループ／採用部採用推進グループ

大学卒業後、岩手県にて復興支援NPOに就職し、子どもたちの学習・居場所づくり支援を行う。日本の教育課題に対し、一番近い場所で向き合うため教師に。認定NPO法人Teach For Japanの教師派遣プログラムを介して、奈良市の小学校へ赴任。教師派遣の任期を終え、2016年4月より株式会社LITALICOに勤務。LITALICOジュニアの各教室での指導や、採用業務、LITALICO主催イベント「教育実践フォーラム」の運営などに携わる。その傍ら、NPO法人Teach For Japanで採用や企業向け研修・講演などを担当。

## 講演者から参加者へのメッセージ

「一人ひとり違っていい」「多様性を認め合おう」言葉にするのは簡単ですが、実際にコミュニティの中で体現しようとすると難しい…皆さん一度はそんな経験があるのではないでしょうか。

私自身「インクルーシブな学級を追求したい」と実践していた学校という場所を離れ、会社で働きながら、改めて多様な人間がちがいを認め合い・活かしあうことの難しさと楽しさを感じています。

特に、教育現場において、多様な「ちがい」を持った子どもたちが、一人ひとり尊重され、互いに認め合いながら、自分らしく生きていく力を育んでいくために、子どもと関わる全てのおとな（教育者）には、どのようなアプローチが求められるのでしょうか。

LITALICOの取り組みを手掛かりに、是非参加者の皆さんとも一緒に考えることができれば嬉しいです！

